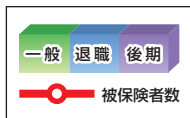
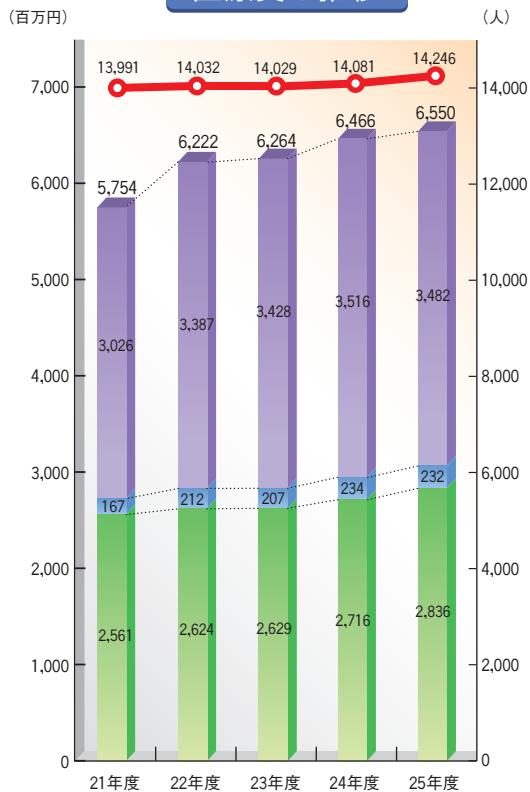


矢板市

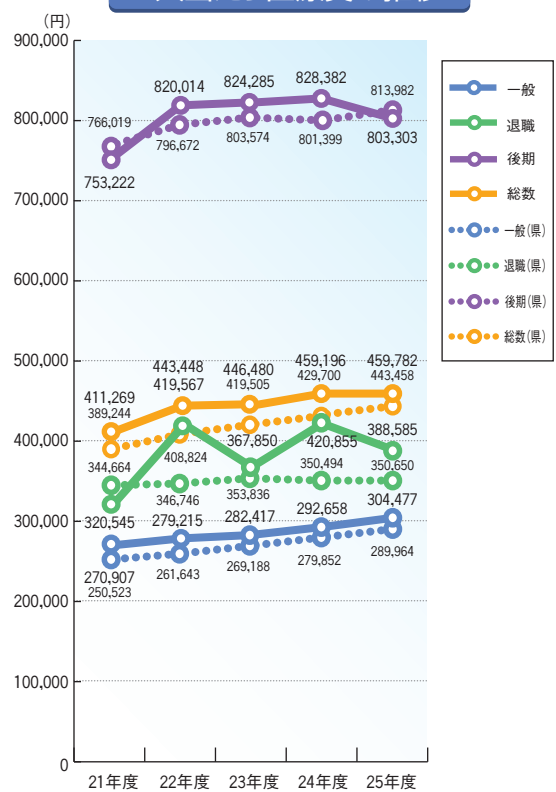
矢板市



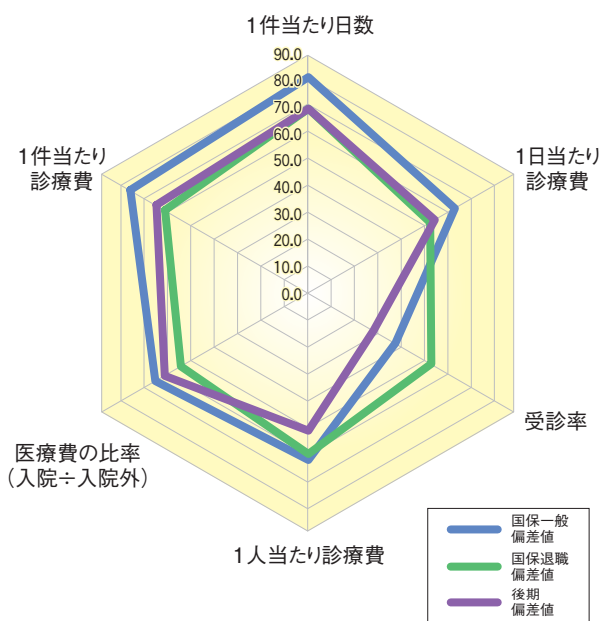
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

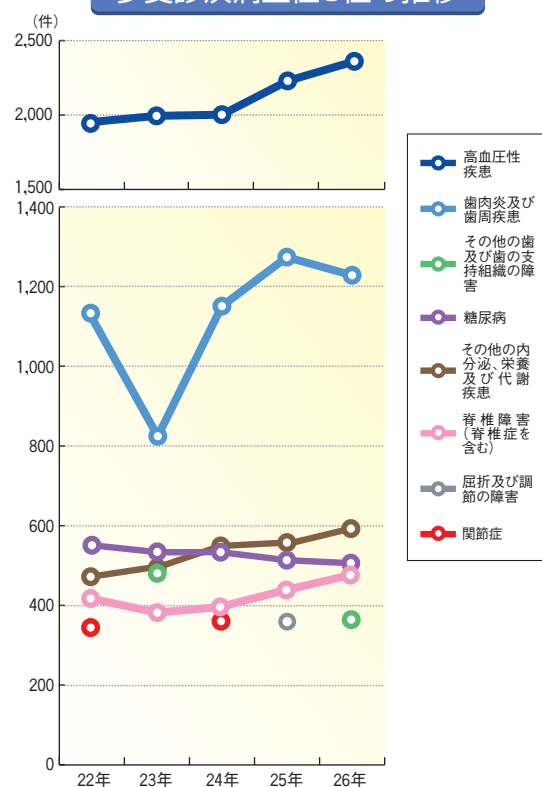


平成25年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

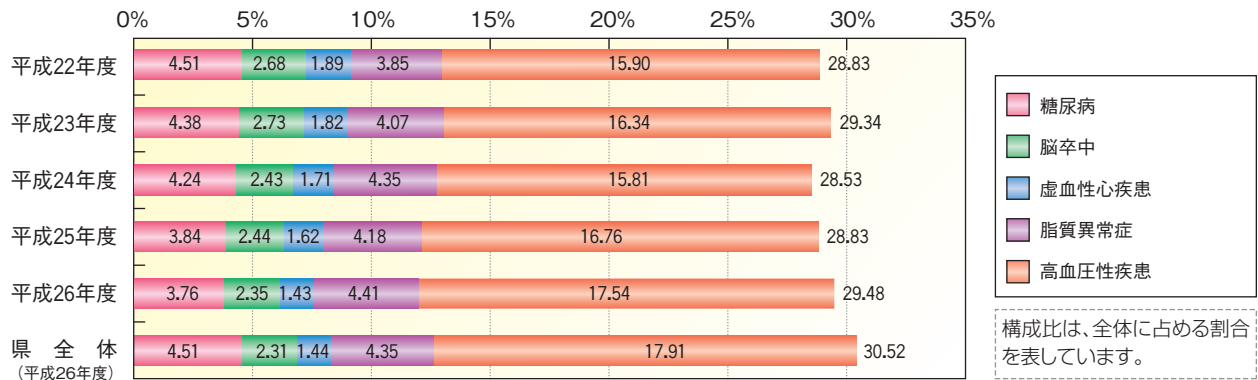


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

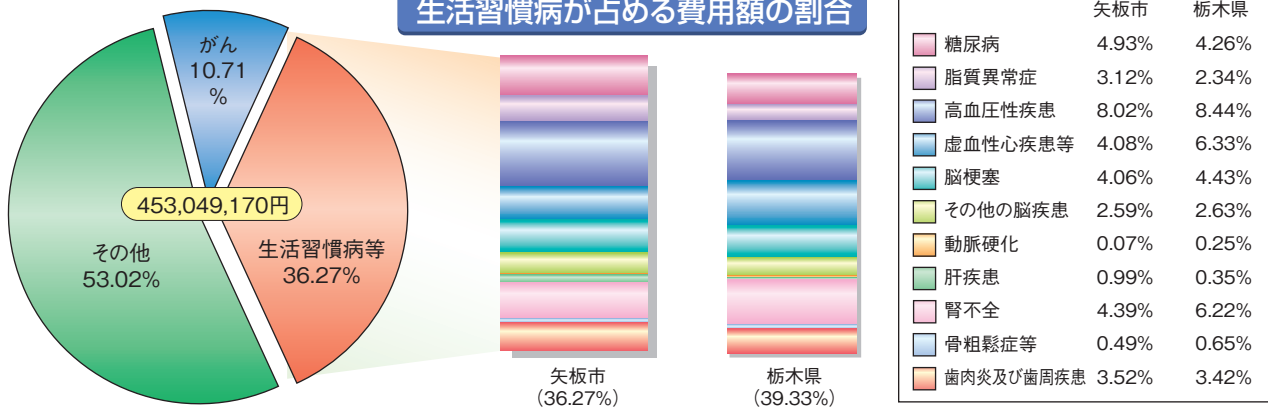
多受診疾病上位6位の推移



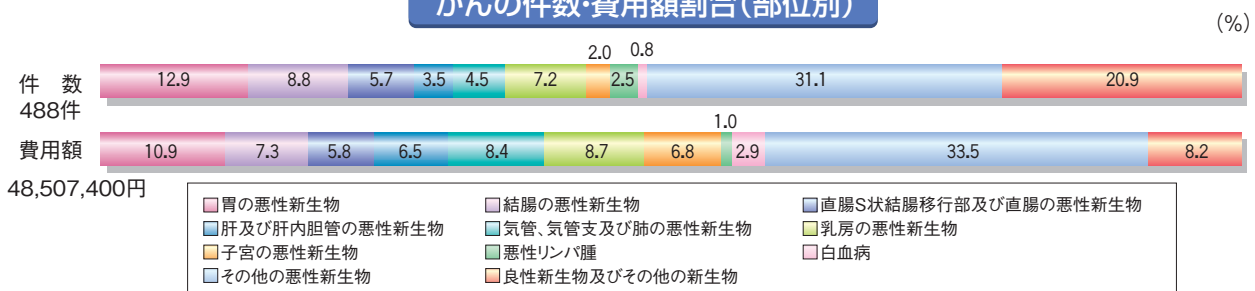
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



矢板市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,835,900千円(104.4%)、退職231,985千円(99.0%)、後期3,481,984千円(99.0%)で、全体では6,549,870千円(101.3%)と増加している。()は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は14,246人で、内訳は一般9,314人、退職597人、後期4,335人である。前年度比較すると全体で101.2%と増加している。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は459,782円(586円増)、一般は304,477円(11,819円増)、退職は388,585円(32,270円減)、後期は803,303円(25,079円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、受診率を除くすべての項目及び法別において県の値を上回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成26年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位脊椎障害(脊椎症を含む)、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも3位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は、平成22年と比べ件数は1.26倍、費用額は1.23倍と増加している。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べても低く、特に糖尿病は年々減少している。

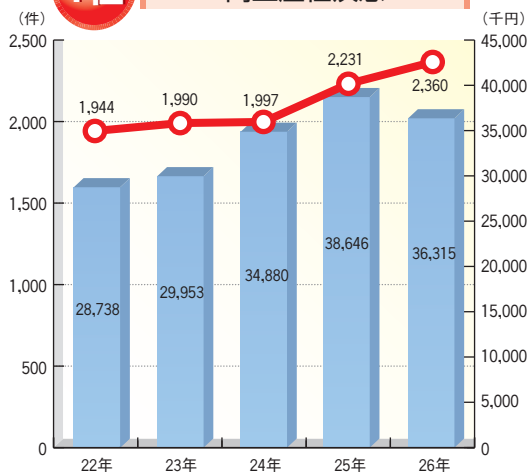
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が453,049,170円で、がんが10.71%、生活習慣病関連が36.27%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.02%、糖尿病4.93%、腎不全4.39%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額は、胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物、乳房の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

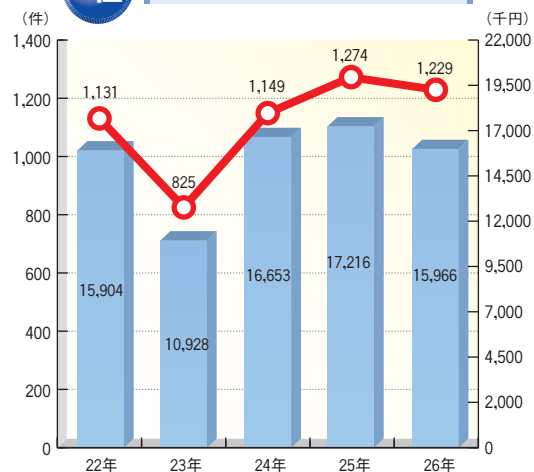
1位

高血圧性疾患



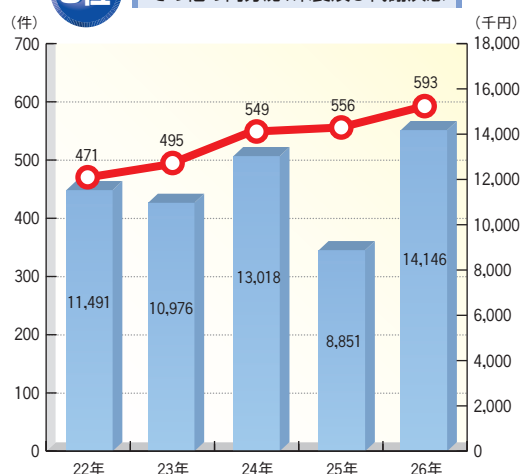
2位

歯肉炎及び歯周疾患



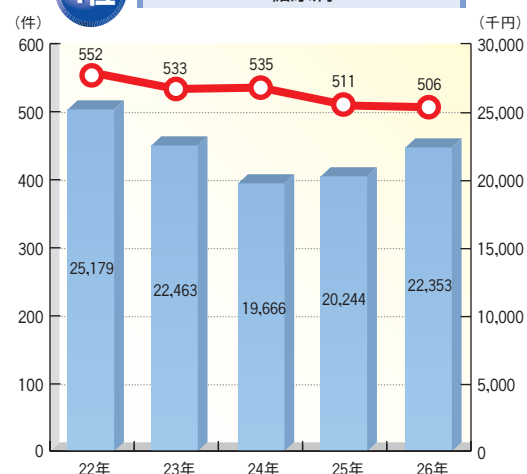
3位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



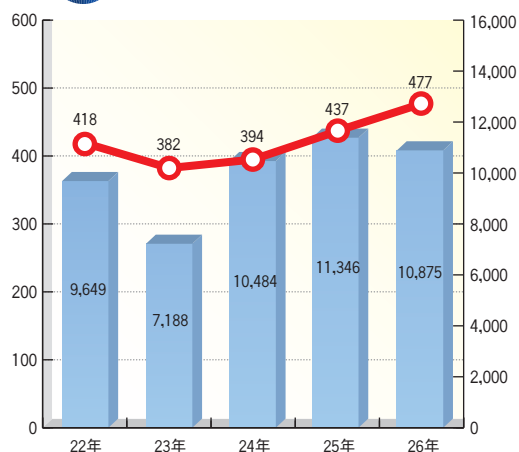
4位

糖尿病



5位

脊椎障害(脊椎症を含む)



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害

